

Hachioji MAIL NEWS



輸送サービス労組八王子地本



ホームページ

2023.11.20

No.058



Twitter

団体交渉開催！

2023.11.17

八地申
第1号

『誰もが鉄道の安全を創り出し、
安心して働くことの出来る職場を求める申し入れ』

その2

2. 6月27日に発生した高尾駅構内での工事用車両の手歯止め撤去失念に伴う入区車両との衝撃、6月29日に発生した高尾駅構内での転てつ器が反位状態のまま軌陸車を移動させ脱線した事により輸送障害が発生等、夜間工事の遅延による輸送障害が複数発生しているが、グループ会社の現状とこのような事象が繰り返し発生する原因と再発防止策について具体的に示すこと。

回答

当社は安全を経営のトッププライオリティと位置づけ、安全性の向上に継続して取り組んでいる。なお、引き続き、必要な教育・訓練を実施していく。

議論経過

※特徴点を記載

労働組合

会社担当者

- 工事に関してだが、列車間合いが拡大したことで業務量が増えたことが原因ではないのか？
- では、原因は何なのか？
- 声かけが不十分で起きた事象ということか？
- 工事では大勢の社員が働いており、その状況下で「異状」に気付いても声を上げづらい風土ではなかったか？
- 工事現場における本体の役割は何か？
- 工事の管理責任は本体にあるのか？
- 夜間作業遅延の原因は何か？ 委託する業務量にムリがあるのではないのか？
- 関連会社の要員は適正だと考えるか？
- 工事後の「後確認」不足による事象が減っていない。安全確保のために本体が責任を持って教育を。

- 関連会社に確認したが、受注量は適正だ。
- 手回しハンドルで転てつ器を取扱った際、「グッドコール」（関係社員へ転てつ器が正当方向に開通したことを声かけする）が不十分だったことによる。
- 声かけに限らず、開通状態の現地確認が不足していたことが原因だ。
- **それはない。**
- 工事によって本体社員の在、不在があり、基本的に**工事現場は関連会社が監督している。**
- **ある。**だが**関連会社にも「責任施工」として安全性や工事の品質を担保するよう必要な教育を実施**しており、本体も当該会社の教育の場で発信してきている。
- **ムリはない。**「施工は（始発列車が）遅れても最後までやりきる」という本社指示もある。
- そうだ。
- **それはどうしても起きてしまうが、今後も引き続き関連会社へ教育をしていく。**

ポイント

「回答」では事象の原因と対策について明らかにされませんでした。本交渉で関連会社の業務受注量や要員は適正であること、安全性向上へ継続して教育を実施することを確認しています。

つづく